

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	地域・在宅概論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	後期	教室名	1年教室
担 当 教 員	戸板 宏一郎	実務経験と その関連資格	医療機関で看護師として勤務していた			
<p>《授業科目における学習内容》</p> <p>本科目は、地域で生活する人々とその家族の暮らしを理解するとともに、生活が健康に与える影響を学んでいく。人の暮らしは個別的で自己の価値観を形成していることを学ぶ。さらに、人は家族の中で生活し、家族は地域の中で生活する存在であること、ソーシャルサポートの存在や生活環境が健康に影響することを学んでいく。</p>						
<p>《成績評価の方法と基準》</p> <p>試験</p> <p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <p>地域療養を支えるケア(メディカ出版) 看護学概論(メディカ出版) 国民衛生の動向(厚生労働統計協会) そのほか、適宜紹介する</p>						
<p>《授業外における学習方法》</p> <p>自分が暮らしている市町村の広報誌を積極的に読みましょう。自分も地域で暮らしている存在です。開催される行事やボランティアに積極的に参加しましょう</p>						
<p>《履修に当たっての留意点》</p> <p>その都度、レポートの提出はお知らせします。レポートは評価対象です。期限内に提出してください。暮らしや生活、価値観を理解するためには他者の意見を聴くこと、自分の考えを伝える努力をしましょう</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	生活することの意味と、とらえ方を考えることができる。		テキスト・参考書	履修概要を事前に確認する	
	各コマにおける授業予定	生活している私たちの身の回りには何があり、どのようなサービスに支えられているのか、考えてみる。生活の基盤について振り返る。				
第2回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	地域と生活の関係について理解することができる。		テキスト・参考書	自分の生活の場を伝えられるように工夫してくる	
	各コマにおける授業予定	地域特性の具体例について知り、生活への影響を考えることができる。				
第3回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	生活と健康との関係を考え、健康に影響を及ぼす原因を理解することができる。		テキスト・参考書	家族について、テレビ・漫画などに出てくる家族から考えておく	
	各コマにおける授業予定	生活習慣病とその原因を理解し、予防するために必要な方法を考えることができる。				
第4回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	地域在宅看護を行うにあたり、その社会背景に何があるのか理解できる。		テキスト・参考書	テキストを読んでくる	
	各コマにおける授業予定	統計から、人口構造の変化を理解し、今後予想される課題と地域在宅看護に求められるものを考える。				
第5回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	地域在宅看護の基礎的な知識を理解することができる。		テキスト・参考書	自分の生活圏内にある施設、公民館、ごみステーション、バス停、病院、診療所、スーパーなど見てくる	
	各コマにおける授業予定	在宅看護と医療施設での看護を比較し、在宅看護で特に重要なポイントを抑える。				

授業の方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標 地域在宅看護を展開するにあたり、対象者と看護の場について理解できる。	テキスト・参考書	普段どのような人々と関わっているのか、考えてくる
	各コマにおける授業予定	在宅看護の対象者となる療養者についてイメージすることができる。また在宅看護がどのようなところで行われているのか理解する。		
第7回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標 地域在宅看護を展開するうえで、求められる対人技術について理解できる。	テキスト・参考書 市町村の広報誌	自分が生活する市町村の広報誌を持参する
	各コマにおける授業予定	地域在宅看護を展開するうえで、対人理解と対人関係の基盤となる看護技術について理解する。		
第8回	講義 形式	授業を通じての到達目標 地域在宅看護における倫理について考えることができる。	テキスト・参考書	テキストを読んでくる
	各コマにおける授業予定	地域在宅看護での看護倫理を具体的な例をもとにイメージする。		